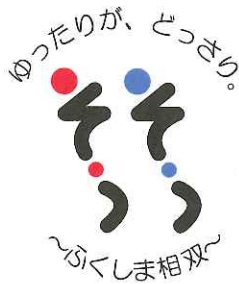


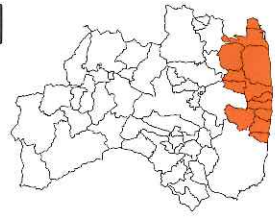
【相双コース】



「みんなで考えよう!! 地域医療のこと」

～相双地域の“今”を見て！聴いて！

感じて！ください～



【期日】平成27年3月3日(火)～4日(水) 1泊2日



高野病院(広野町)にて

研修の概要

○ 研修の趣旨

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域の医療の現状や復興の状況について、病院や精神保健活動を行う関係機関等の視察を通して、地域医療への理解を深めていただきます。

○ 主な研修の内容

1 地域医療現場の視察

地域医療の現場の視察を通して、被災地における医療の現状と課題等を学びます。

2 臨床研修医との懇談

相双地域の中核病院で初期研修を受けている研修医から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

3 地域の精神保健活動の視察

被災者の心のケア等地域住民のこころの健康を守り増進するための取組を学びます。

4 食の安全・安心の取組の視察

もやしの生産過程や放射性物質検査等の見学を通して、食の安全・安心の取組を学びます。

5 津波被災地及び地域の歴史と文化の視察

被災地の現状や復興状況を視察するとともに、地域の歴史と文化を学びます。

過去の研修風景



医療機関視察



地域住民との交流



津波被災地視察



研究発表

アピールポイント

- 1 震災の影響により、今もなお厳しい環境に置かれている相双地域の医療の現状を学ぶことができます。
- 2 被災地域の視察を通して、相双地域の現状を肌で感じることができます。
- 3 相双地域の水産物など旬の味覚を堪能できます。

地域医療体験研修参加者の声



相双地方は医師不足が深刻であり、特に若手の先生がいません。なかなか厳しい環境ではありますが、そこには「医療の原点」がありました。「患者さんの話に丁寧に耳を傾け、患者さんの視点に立って診察している」という医師の言葉がとても印象的でした。「患者と医師」という社会的な関係ではなく、温かみがある「患者さんを診る医師」になりたいと強く思いました。

他にも発電所の見学など、相双地方を理解するプログラムがたくさん含まれていました。地域で働く医師はその地域のこともしっかり理解することがとても大切だと思いました。

この研修では、他大学の医学生と触れ合えるのもとてもよかったです。普段あまり考えないこと、気がつかないことにも目を向けることができました。この研修に参加して本当によかったと思います。皆さんも是非参加してみませんか。きっと世界が広がりますよ！

研修に参加する学生は毎回違った人であり、地域医療に対する意識は高い人が多いですが考え方は様々です。そんな学生達と研修で同じ時間を共有すると、参加する度に毎回違った考え方を得ることができます。それは、普段通りの大学生活を送っている中では得難いですが、医師を目指す上で確実にプラスになるものだと思っています。だからこそ、この研修には医学生なら一度は(できることなら何度でも)参加してほしいと思います。地域医療で求められる医師とは、決して「地域」に限定されるものではなく、医師として働く上で必ず求められるものなのだろうと感じました。



行程表

日程	スケジュール	食事の有無	宿泊
3月3日(火)	9:00 9:30 9:30~10:15 12:00~12:40 13:10~14:10 14:30~17:30	朝(×) 昼(○) 夜(○)	旅館 かんのや
3月4日(水)	8:50~9:10 9:30~10:30 10:45~11:45 13:00~15:30 17:00 17:30	朝(○) 昼(○) 夜(×)	